

住まう松林を知り、住まう茅ヶ崎を知る講座

お申し込みは市教育委員会社会教育課にて電話で受付します。☎ 0467-82-1111

受付開始日：平成 30 年 1 月 30 日(火) 8時30分～

1

企画展オープニング『松林の長堀検校』

ながほりけんぎょう

- 日時 2月17日(土) 10時～12時30分
- 講師 長嶺敬子さん(ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会)
- 会場 講義室 ● 定員 80名(事前申込制・先着順)

キーワード 【長堀検校】

「検校」とは盲人の役職の最高位のこと。長堀検校は若くして失明し人生に失望した時期を経て、江戸に出て杉山流の鍼灸術を学び、関東の取り締まりとなる「総録検校」にまでなりました。元治元年(1864年)、菱沼八王子神社に狛犬を奉納しています。



6

『松林と大山道』

- 日時 2月18日(日) 14時～15時30分
- 講師 金子栄司さん(ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会)
- 会場 講義室 ● 定員 80名(事前申込制・先着順)

キーワード 【大山道】

大山道は、大山阿夫利神社(大山寺)に参拝するための道で、大山詣が最盛期だった江戸中期、庶民の信仰として多くの人々が往來しました。いくつかある大山道の中で、一の鳥居がある藤沢の四ツ谷～茅ヶ崎～平塚～と続く「田村通り大山道」が、松林公民館の北側を通っています。



16

『赤羽根の地名に関わる歴史』

- 日時 2月23日(金) 10時～12時
- 講師 岡崎孝夫さん(茅ヶ崎市文化財保護審議会委員)
- 会場 講義室 ● 定員 50名(事前申込制・先着順)

キーワード 【地名が語る赤羽根のむかし】

赤羽根という地名の初出文献は『小田原衆所領役帳』(永禄2年(1559年))。「役帳」に小田原北条氏小机衆の市野助太郎と市野四郎左衛門の役高として、それぞれ「二十貫文 東郡 赤羽根開」とあります。(茅ヶ崎市文化資料館『地名が語る赤羽根のむかし』より)



昭和57年の赤羽根を空撮した写真。「新湘南バイパス」がまだない。

17

『松林村の歴史』

- 日時 2月23日(金) 14時～15時30分
- 講師 平山孝通さん(茅ヶ崎市史協力員)
- 会場 講義室 ● 定員 80名(事前申込制・先着順)

キーワード 【松林村役場跡】

明治22年(1889年)室田を始め、高田・赤羽根・甘沼・香川・小和田・菱沼の七ヶ村が一つとなって松林村となりました。明治41年(1908年)に松林村・茅ヶ崎村・鶴嶺村が合併して茅ヶ崎町が成立し村役場はなくなりました。

